

福祉・介護職員等処遇改善加算の職場環境等要件について

社会福祉法人 夢と虹の会

当法人では、下記の職場環境の改善に向けた取り組みを実施し、処遇改善加算を取得しております。

区分	内容	取り組み
入職促進に向けた取組	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）	経験や資格の有無にかかわらず、幅広い年齢層の職員を採用し、多様な人材が活躍できる職場づくりを進めている。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	毎年、町内で開催される福祉フェスティバルに出店し、地域住民に向けて障害福祉分野の職業的魅力を伝える PR 活動を行い、人材確保や業界理解の促進につなげている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等	介護福祉士実務者研修や強度行動障害者支援者養成研修等、業務に関連する専門技術研修については、全職員が受講できるよう、法人が受講料を全額負担するとともに、受講日に合わせた勤務調整を行っている。
	研修の受講やキャリア段位制度等と人事考課との連動によるキャリアサポート制度等の導入	当法人では、介護職員の成長意欲を高め、長期的なキャリア形成を支援するため、資格取得やキャリア段位制度と人事考課を連動させた「キャリア段位連動型人事評価制度」を導入しています。本制度では、介護職員初任者研修、実務者研修、介護福祉士といった資格取得の順序をキャリア段位として位置づけ、段位ごとに職務範囲・役割・評価基準を明確化しています。人事考課においては、段位到達を昇給・昇格項目として設定し、資格取得や段位昇格時には即時昇給を行

		います。また、人事評価では、業務遂行力や役割達成度、チームへの貢献度、自己研鑽の取り組みなどを加点要素として反映します。
両立支援・多様な働き方の推進	有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけ等に取り組んでいる	計画的な有給休暇取得の促進を行った結果、令和6年度の有給休暇取得率は73%となった。
	有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消に取り組んでいる	当法人では、有給休暇の取得促進を図るため、業務の属人化や業務配分の偏りを解消する取り組みを行っています。まず、日々の業務内容や進捗状況を共有するため、終礼、業務日誌、グループウェア（ラインワークス）を活用し、担当者不在時でも他職員が業務を引き継げる体制を整えています。また、特定の職員に業務が集中しないよう、記録作成や利用者対応、連絡業務などを複数担当制とし、誰でも対応できるようOJTを実施しています。これにより、特定の職員にしかできない業務をなくし、急な休暇や長期休暇取得時にも業務が滞らない環境を実現しています。結果として、有給休暇を安心して取得できる職場づくりが進み、職員間の業務負担の平準化とワークライフバランスの向上につながっています。
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	短時間勤務のパート職員も含め、全職員が毎年健康診断を受診している。
	福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援やリフト等の活用、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	介護技術の向上および職員の健康維持を目的として、サービス管理責任者を含む全職員が（交代で）毎年、腰痛予防研修を受講している。
生産性向上のための業務改善の取組	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	現場の課題を可視化するため、職員からのヒアリングや日報等の分析により課題を抽出し、カテゴリー別に構造化するとともに、全職員に

		よる業務時間調査を実施して業務負荷の偏りを特定し、改善案の検討・効果検証まで継続的に行っている。
	業務支援ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	請求ソフト（ND）を導入し、請求業務の業務量の縮減を図っている。
	介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資する I C T 機器（ビジネスチャットツール含む）の導入	インカムを導入し、職員間の連絡調整の迅速化を図っている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	日々のミーティングを通じて、勤務環境および支援内容の最適化を図っている。
	地域社会への参加・包容（インクルージョン）の推進のための、モチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	当法人では、地域との交流を深める取り組みの一環として、太子町主催の芸術祭に毎年出演・出展し、日頃の活動成果や作品を地域住民の方々に披露しています。さらに、地域の小学校と音楽を通じた交流会を継続的に開催することで、相互理解を促進しています。これらの活動を通じて、地域社会とのつながりを強化するとともに、利用者の社会参加の機会を広げています。